

令和4年度  
秋号

# 広報誌 熱気球

■ 発行  佐賀中部病院 佐賀市兵庫南3-8-1 TEL 0952-28-5311



## 病院の理念

### 基本理念

1. 患者さん中心の医療を行い、質の高い安全な医療を提供します。
2. 皆様が安心して暮らせ、心の支えとなる病院を目指します。

### 基本方針

1. 患者さんを中心としたチーム医療を行います。
2. 地域へ良質な保健（健診センター）・医療・福祉（老健施設、在宅ケア）の提供を行います。
3. 地域医療機関と密接に連携した医療を行います。



## 外科の現状報告と今後の展望について

外科 清松 和光、岡 洋右、日野 東洋、上田 雄一郎

佐賀中部地域の二次医療機関としてのJCHO佐賀中部病院は、病床数は116床の急性期病棟と20床のコロナ病棟となっております。

発熱外来はじめコロナ患者のケアには呼吸器内科の先生方やスタッフの皆様には大変頭の下がる思いで常日頃過ごしております。

当科の診療におきましては幸い大きなトラブル無く行えており、令和3年度の当院全体の手術症例数は1,300件強で、外科は321件でした。ひとえに近隣の先生方や諸先輩方のご紹介あってのことで、この場を借りてお礼申し上げます。手術症例の内訳ですが、胃10例、結腸24例、直腸10例と症例数は限られますが、良性の疾患のみならず、胃癌や大腸癌でも部分切除から全摘まで、腹腔鏡を中心に手術をさせていただいております。3DやICGに対応した内視鏡セットを導入しており、細かい解剖の認識や再建腸管の血流の確認など、より安全に手術が遂行できる環境となっております。

また、あじさい乳腺外科クリニックの濱本隆浩先生や、貝塚病院形成外科の森川綾先生にも出張していただき、乳癌におけるオーダーメイドの手術を行っております。

当科の試みとしましては、消化器内科との連携での低侵襲を目指した手術を行えるよう心がけております。具体例としましては、腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）、術前の蛍光マーキングクリップ、腸管ステント、ESTを含めた胆管ステントなどです。それ以外では肝腫瘍に対する経皮RFA+肝部分切除を一期的に施行するなど、今後もそのような症例を増やしていきたいと考えております。

また、循環器、呼吸器、内分泌などの内科とも非常に連携が取れやすい環境のため、比較的短い待機期間で手術が行えております。

常勤の外科医は4人でローテーション率はやや高めですが、少人数ならではのコミュニケーションの良さが最大の武器と自負しております。

さらに今年からは数年ぶりに、臨床外科佐賀支部会や佐賀外科フォーラムなど再開され中核病院ともコミュニケーションを密にとれるよう努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、近隣の諸先輩方にはいつもご支援いただき心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻の程どうかよろしくお願い致します。

(文責：岡 洋右)



2023年1月16日より

## 女性アスリート外来を開始します



佐賀県SSP（SAGAスポーツピラミッド）女性アスリート支援事業の一環として、2022年1月より当院婦人科にて女性アスリート外来を開設する運びとなりました。

女性アスリートの健康管理上の問題点として、①エネルギー不足、②無月経、③骨粗鬆症を三主徴として定義されています。

以前は無月経の状態が女性アスリートの健康にそこまで影響があるとは認識されていませんでしたが、無月経の女性アスリートで骨折の頻度が高いことが学会などで報告され、徐々に認識されるようになりました。最近は無月経アスリート自身や保護者、スポーツ指導者などにも広く認知されてきていますが、実際どこに相談したらいいのか分からないという声が多く聞かれました。

また、無月経ではなくても、月経困難症や月経前症候群などの月経関連症状は、アスリートのコンディションを損ないその成績に影響を与えることもあります。

当外来では、女性アスリート特有の問題（主に月経について）を相談できる窓口として、地域の病院・クリニックの先生方と連携を行いながら診療を行っていきたいと思います。



診療時間 毎週月曜日 14時～16時30分  
(婦人科外来にて完全予約制)

対象 月経に関する症状のある女性アスリート  
例：無月経、月経不順、月経痛、月経前症候群、過多月経など

担当医 婦人科 野口光代、坂西愛

2022年12月15日から予約を開始します

0952-28-5311 (代表)

電話対応時間：平日15時～17時

「女性アスリート外来の予約」とお伝えください



# 🎀 乳がん検診を受けましょう

診療放射線技師 札ノ内 千穂

乳がんは女性が患うがんの中で一番多く、今では9人に1人が罹患するといわれています。しかし、早期発見することで治るがんともいわれており、乳がんを早期発見するために重要なのが、定期的な乳がん検診です。

今回は、当センターで行っている乳がん検診について紹介します。

## マンモグラフィ



マンモグラフィ撮影室

マンモグラフィは乳房を適度に圧迫し、X線で撮影する検査です。乳房を圧迫することにより、しこりや石灰化が鮮明に描出され、発見されやすくなります。マンモグラフィを撮影していると、「友達から痛いと言ったので、今まで怖くて受けられなかった。」という声を聞きます。圧迫時の痛みには個人差があります。「痛みに弱い」とか「生理前で乳房が張っている」など担当技師に伝えていただき、コミュニケーションをとることで可能な限り痛みの少ない検査にしたいと心がけています。

当センターでは検診結果とともに、高濃度乳房の受診者へ超音波検査を推奨する取り組みをしています。高濃度乳房というのは、若年層に多く、乳腺組織が発達した乳房のことです。高濃度乳房自体は病気ではありません。しかし、その発達した乳腺の中に、しこりが隠れて見えにくくなる可能性があります。より乳がんを発見しやすくするため、自分にあった検診内容を選択することで、早期発見の手助けができればと考えています。



## 超音波検査

超音波検査では、触診で分からない小さなしこりを見つけ、全体的な形態や、他の組織との境界面の状態、血流、硬さなどから、良性・悪性の判断をし、早期発見を目指しています。

また、精度の高い検査を提供できるよう、前回の超音波検査の結果との比較や、マンモグラフィの画像を確認後、検査をしています。検査室はカーテンで仕切られた薄暗い部屋で、上半身の衣類を脱いでベ

ッドに寝ていただき、検査に必要な乳房以外はバスタオルを掛けます。乳房にゼリーを塗り超音波を出す機器（プローブ）を胸に当て検査します。温めたゼリーを使用していますので、冷たくありません。



乳房超音波検査

検査は女性技師が担当しており、検査時間は平均して10～15分程で終了します。放射線科や外科とも連携していますので、健診後の精密検査やフォローもスムーズに行えます。

超音波検査は放射線被ばくがなく、妊娠中や授乳中でも安心して検査を受けることができます。痛みを伴わず、身体的苦痛がないのもメリットです。

乳がん早期発見を目指し、皆様の健康に貢献できるよう日々努力しています。

## 保健師より

最近、乳がんが遺伝しやすい病気であることが周知されているようで、当院でも20代から「母に勧められて来ました」と検診をお申込みされる方が増えています。また、40才になって初めて検診を受けるという方もいらっしゃいます。乳がん検診というと「検査代が高い」「痛い検査」というイメージが強いようで、これまで検診を受けてこられなかった理由のひとつのようです。また、検診を受けられる方には「乳房エコーとマンモグラフィのどちらを受けたらよ



乳房模型での触診体験



高濃度乳房の方に送付するリーフレット

いのか」とか「マンモグラフィは1枚でもいいのか」等、悩まれる方もいらっしゃいます。当院では、2名の医師が結果をもとにその方に適した検査方法をご報告し、看護師・保健師もその方の家族歴や年齢を考慮した上で、ベストな検査をご提案させていただいております。

皆さん、普段乳房に触れていらっしゃいますか？硬いしこりや違和感を感じたら、すぐに専門医へご相談ください。早期発見でQOLの低下を予防しましょう！

乳がん検診のお問い合わせは

佐賀中部病院健康管理センター

電話 0952-37-0580





## Web会議新システムの導入について



総務企画課主任 白浜 悠生

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいすでに2年以上が過ぎ、アフターコロナへの対応が急がれております。遅ればせながら当院でもWEB会議システムの整備ができましたので、この場をお借りしてご案内申し上げます。

この度導入したCisco WebEX Meetingは、2022年4月の診療報酬改定により設けられた感染対策向上加算について、リアルタイムでの画像を介したコミュニケーション（ビデオ通話）が可能な機器を用いて実施しても差し支えないとする疑義解釈が発出されたことを受けて整備したものです。

10月には、当院がホストとなり第2回感染対策地域連携カンファレンスを行いました。

今後は感染対策のみならず、地域医療機関との連携や勉強会の場として活用できるよう検討しておりますので、その際はふるってご参加頂きますようお願い申し上げます。



Web会議の様子



今年の夏も  
ひまわりが満開でした！  
3階庭園で去年から育て始めた  
ひまわり。今年の夏も満開に咲き、  
入院患者さまに喜んでいただきました。

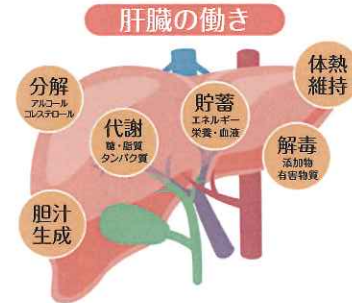


# けんこう通信

## 第2回 沈黙の臓器「肝臓」を守りましょう！

### 【肝臓の役割】

1. 代謝機能：摂取した栄養素を体に合うように作り変えます
2. 貯蓄：栄養素を蓄えます
3. 解毒作用：体に有害なものを無害にします
4. 消化：脂肪の消化吸収を助ける消化液（胆汁）を生成・分泌します



### 【アルコールの適量】

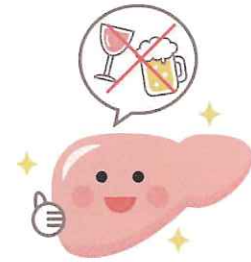
日本人の場合、アルコールに換算して1日に20g程度の飲酒であれば、適量といえます。（※男性では10～19g、女性では9gまでが最も死亡率が低いという研究結果もあります。）40gが限度で、それ以上になると一晩では分解できず、肝臓は翌日までアルコールを分解しなければならず、負担となります。

### 【アルコールは高カロリー!!】

アルコールは高カロリーです！**1日80～160kcal**に抑えましょう。

また、肝臓に週1～2回以上のお休みをあげましょう。

（肝機能異常の方は、かかりつけ医にご相談を！）



### 【主なお酒のアルコール換算目安とカロリー】

お酒の種類	ビール 500ml	清酒 1合180ml	ウイスキー ブランデー ダブル60ml	焼酎(35度) 1合180ml	ワイン 1杯120ml
アルコール度数	5%	15%	43%	35%	12%
純アルコール量	20g	22g	20g	50g	12g
カロリー	200kcal	185kcal	142kcal	256kcal	88kcal

### 【適正飲酒の10ヶ条】

- 談笑し、楽しく飲む
- 食べながら適量範囲でゆっくりと飲む
- 薬と一緒に飲まない
- 他人への無理強い・一気飲みはしない
- 強い酒は薄めて飲む
- 飲酒後の運動・入浴は避ける
- 休肝日を設ける
- 妊娠中と授乳期は飲まない
- だらだら飲み続けない
- 定期検査を忘れずに！



肝臓の病気は自覚症状があらわれにくいので、飲酒量が多いと

**アルコール性肝疾患→肝硬変→肝がん**

と進行する可能性があります。適量を心がけましょう。